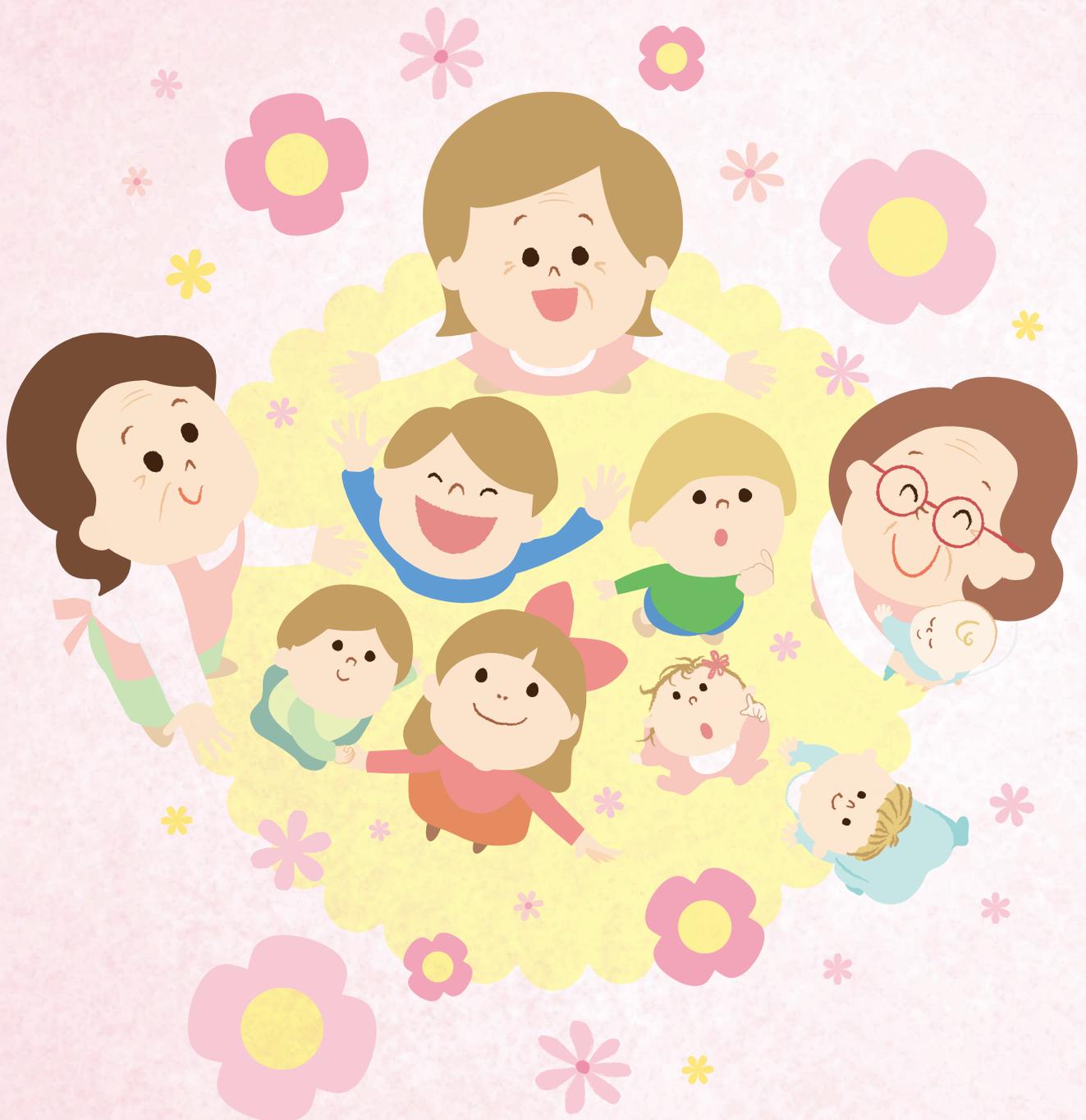


シニアベビーシッターの 元気・イキイキ読本



はじめに

「子どものお世話をしていると、自分も元気になる」

「この職業にめぐり合って本当に良かった。毎日が充実している」

「今日はどんなお顔をしているかな。」

いつもワクワク楽しみにして仕事に行っている」

これらは、多くのシニアベビーシッターからお聞きした声です。

全国保育サービス協会では、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構からの協力を得て、当業界の貴重な人材である「シニアベビーシッター」に着目し、より一層、元気にイキイキと活躍していただくための道筋を整理してきました。

その一環として、この『シニアベビーシッターの元気・イキイキ読本』は、第一線の保育現場で活躍される、概ね60歳以上のベビーシッター向けに作成されたものです。

ベビーシッターの責務は、子どもの安全を守り、子どもや保護者にとって安心した保育を実践することです。こうした観点から、この読本は、大きく**4つのサプリ**（サプリメント）から構成されています。サプリメントとは、一般的に「栄養素を補うための補助食品」の総称ですが、皆さんの保育の技量にちょっとした「サプリ」を投入してみませんか？



皆さんがめぐり会った「ベビーシッター」という職業。シニアという強み・持ち味を生かしつつ、元気でイキイキと保育を続けるヒントになるのが、「4つのサプリ」です。今後のベビーシッター業務を進める上での一助になれば幸いです。



～4つのサプリー～



シニアベビーシッターならではの
強み・持ち味を仕事に生かしましょう



定期的に自分の仕事ぶりを
点検しましょう



「運動器」を高めて、
元気な身体を維持しましょう



「こころ」の健康を高めて、
イキイキ保育を続けましょう

【本読本における用語の定義】

シニア・シニア層：60歳以上の高齢者。なお、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」では、55歳以上を「高年齢者」と定めている。

ベビーシッター：利用者の居宅または指定された場所で保育を行う保育者。「家庭訪問保育者」の通称。



シニアベビーシッターならではの 強み・持ち味を仕事に生かしましょう

皆さんは、自分の強みや持ち味について、じっくりと考えたことはありますか？

皆さんが所属する事業者に、「シニアベビーシッターの強みや持ち味をどのように考えていますか？」と質問すると、共通して「心にゆとりがある」、「安心感・安定感があって信頼できる」と答えました。

こうしたシニアベビーシッターならではの強みや持ち味は、宝の持ち腐れにせず、仕事の中で大いに役立てたいものです。

私たちの強みや持ち味は、いうまでもなく「十人十色」です。皆さんの強み・持ち味を「保育の現場で最大限に生かす」ために、次の2つのポイントを整理してみましょう。



ポイント 1

自分の強み・持ち味を具体的に考える

- *「自分の長所って何かな」、「自分のセールスポイントって何かな」という観点で考えると整理しやすいでしょう
- *「シニアならではの」という視点も加えてみましょう

ポイント 2

その強み・持ち味を、仕事の中でどのように生かすのかを考える

- *お世話する子どもとの関わりにおいて、どのように生かしますか？
- *保護者との関わりにおいて、どのように生かしますか？
- *皆さんの所属会社との関わりにおいて、どのように生かしますか？

前ページの2つのポイントを参考に、自分の強み・持ち味と、それをどのように生かすのかを具体的に考えて書き出してみましょう。

自分の強み・持ち味	自分の強み・持ち味の生かし方
	<p>〈子どもに対して〉</p> <hr/>
	<p>〈保護者に対して〉</p> <hr/>
	<p>〈所属会社に対して〉</p> <hr/>

皆さんの豊富な経験に裏打ちされた強み・持ち味を、是非とも仕事に生かしていただき、より充実したベビーシッター業務につなげていきましょう。

ちょっと一息、ブレイクタイム

～アクティブリスニング(積極的傾聴)を実践しましょう～

相手から何らかの相談をされた際に、最初は「うん、うん」と聞いていたものの、いつの間にか「私も似たような経験があるんですよ」と、気づいたら自分の話をしていたという経験はありませんか？

あるいは、自分の経験や考え、価値観などに固執して、「答えありき」で相手の悩みや相談を聞いていたという経験はありませんか？

アクティブリスニングとは、相手が話している「言葉」を、単に耳で「聞く」のではなく、相手が置かれている状況や背景にある心情までも理解

しようと、一所懸命に「聴く」こと、すなわち「共感するという行為」です。「積極的傾聴」ともいいます。

ベビーシッターは、子どものお世話のみならず、保護者との良好なコミュニケーションを図ることも重要な責務です。保護者からの話しかけには、日常的な出来事から育児の悩み、あるいは仕事と家事の両立への疲労感や「グチ」など、さまざまな内容があることでしょう。

仮に、「私が子育てをした時代はこうだった」、「親なんだからもっと努力すべき、頑張るべき」という価値観を前提に保護者の話を聞いたら、その保護者の心を理解(共感)することはできません。「聴いた」ことにはならないのです。



アクティブリスニングは、子どもとの関わりの中でも大変に重要です。

なぜなら、片言でも一生懸命に話しかけている子どもの「心」を聴くことができるからです。

シニアベビーシッターならではの温かさやゆったりとした優しさに、

「アクティブリスニング」というスパイスを加えてみませんか？

聴き上手になるための基本ステップを実践してみましょう！

ステップ 1

「あいづち」を打つ。
相手の話を遮ることなく、
うなずいて聴く。



ステップ 2

「あいづち」とともに、
相手が言ったことを
「おうむがえし」する。



ステップ 3

「あいづち」とともに、
自分の“ひと言だけ”を添える



ステップ 4

質問する、さらに深く聴く



× NG対応例 ×

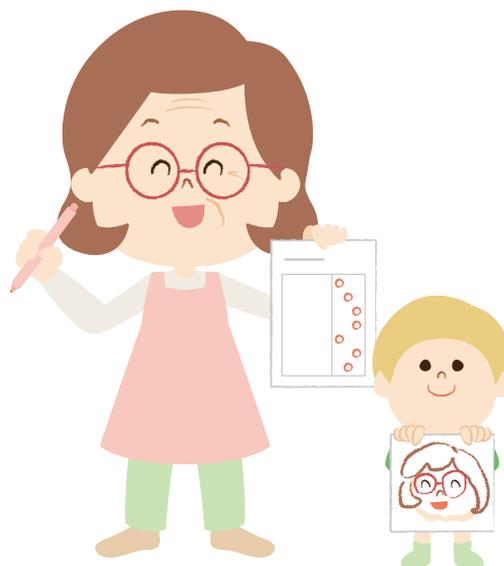


定期的に自分の仕事ぶりを 点検しましょう

ベビーシッターは、所属会社からの依頼を受けて、密室かつ単独で保育をする仕事です。ですから、皆さんの仕事ぶりを「その時、その場」で所属会社からアドバイスをもらったり、指摘を受ける機会はなかなかありません。

より良い仕事をするためには、自らの目で自分の仕事ぶりを点検し、「自己評価→仕事ぶりの修正」という「振り返り作業」が大切になります。

8ページの「仕事ぶりの自己点検チェックシート」は、事業者やシニアベビーシッターの方々からお聞きした話やアンケート調査をもとに作成したものです。皆さんも、この機会に是非チェックしてみてください。



チェックシートによる自己点検作業のポイントは以下の通りです。

「出来ている」にチェックした項目について

- *すでに身につけていることとして、自信を持ってください。
- 引き続き、「常に出来ている」という状態にするような努力をしてください。

「時々。出来ているときと出来ていないときがある」にチェックした項目について

- *どのようなときに出来ていないのかを振り返りましょう。
- *「出来ている状態」にするためには、どのような取り組みや心構えが必要なのかを考え、実行しましょう。

「出来ていない」にチェックした項目について

- *なぜ、出来ていないのかを振り返りましょう。
- *「出来ている状態」にするためには、どのような取り組みや心構えが必要なのかを考え、実行しましょう。

〈仕事ぶりの自己点検チェックリスト〉

1…出来ている 2…時々。出来ているときと出来ていないときがある 3…出来ていない

チェック項目		チェック欄		
規律等の遵守	①所属会社のルールブックや資料(業務マニュアル、規則など)は、定期的に読み返したりスタッフに再確認するなどして、「知らない、聞いていない」ということはない	1	2	3
	②服装、髪型、メイク、アクセサリーの着用など、常に所属会社のルールに従っている	1	2	3
	③会社のルールに従って、報告・連絡・相談が漏れることはない	1	2	3
健康の維持・管理	④少なくとも年に1回は健康診断を受診し、その結果を所属会社に提出している	1	2	3
	⑤体調の維持管理に努め、定期的な運動を実践している	1	2	3
	⑥仕事に出かける前に笑顔や身だしなみの点検をするなど、見た目のハツラツさや清潔感など、常に気を配っている	1	2	3
保育中のスタンス・仕事の品質管理	⑦所属会社からのどんなに些細な指示や、保護者からの毎回似たような依頼内容であっても、常にメモをとるなどして、引き受けた仕事に漏れが生じることはない	1	2	3
	⑧自分の考えに固執することなく、所属会社の指示に合わせて柔軟に対応している	1	2	3
	⑨保護者の要望や指示内容を正確に把握し、自分の考えや経験に固執することなく保育にあたっている	1	2	3
	⑩自分の考えや経験にこだわらず、保護者の心情や子どもの状態を最優先して、保護者や子供に寄り添った保育を常に行っている	1	2	3
	⑪所属会社からの注意や指摘事項は素直に受け入れて、改善している	1	2	3
	⑫日々の仕事について、良かった点、ヒヤリとした点、反省すべき点等について記録し、次の仕事に生かしている	1	2	3
自己研鑽	⑬所属会社が主催する研修には必ず参加している	1	2	3
	⑭保育サービスに関する研修等の情報は積極的に収集し、全国保育サービス協会や外部機関の主催であっても、少なくとも年に1回は受講している	1	2	3
	⑮最新の育児事情や「あそび」の引き出しを増やすために、積極的に情報収集し、仕事に活かしている	1	2	3
	⑯このチェックリストは、自分の今の姿を客観的に見て、素直な気持ちで点検した	1	2	3

「仕事ぶりの自己点検チェックシート」は、さまざまな活用方法があります。
以下の活用例を参考にして、仕事を振り返るサイクルを身につけて
いただければと思います。

1



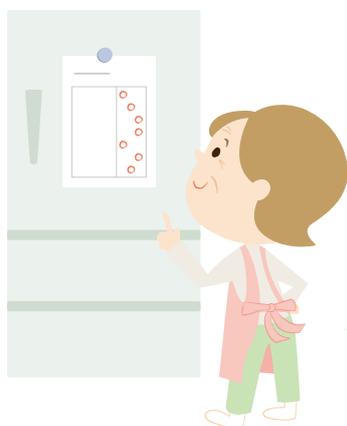
1ヶ月に1回など、
定期的にじっくりと
振り返ってみる

スケジュール帳にはさむ
などして、移動中などの時間が
あるときに確認する



2

3



キッチンの冷蔵庫や
戸棚に貼るなどして、
気づいたときに確認する